

DXの取り組みについて

1.経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について

①デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について

新型コロナウイルスの影響や様々なコストの高騰、人口減少による人手不足などの状況により、デジタル技術等の活用が社会全体に広がっています。そのため、デジタル技術の進化がクライアントや社会から選ばれるための重要な課題であると認識しております。当社が事業を展開するICT教育の役割も拡大しているため、デジタル技術等の社会や企業における活用の方向性を注視しながら、事業を展開していくことがより重要となっています。

②経営ビジョンやビジネスモデル

私たちは、働く人々の成長を通して顧客の売上・利益拡大を図り、世界のサービス業の未来を変えていきます。そのために当社は、お客様の悩みに寄り添い、共に解決へ向かうためのパートナーでありたいと考えています。

当社が提供しているICT教育事業では、デジタル技術も駆使しながらサービスの品質を向上させ、競合優位性を高めることで、新たなビジネスモデルの構築を目指します。また、教育事業だけに留まらず、人財に関わる様々な仕組みづくりのための新たなビジネスモデルを通じて、さらなる事業の拡大に繋げ、社会のデジタル化の動向やニーズに合わせたサービス提供を実現し、顧客の未来を創造します。

2.経営ビジョンやビジネスモデルの実現のための戦略

新たなビジネスモデルの構築において、提供サービスの付加価値や生産性を向上させるため、社内業務の見直し改善を図り、自動化可能な業務はRPAを導入するなど、各種システム開発・導入することで、DX化を目指します。

業務・営業・事業の3つの軸でDX化を加速させ、人×データ×テクノロジーにより、サービスの構築実現に向けて努めます。開発にあたっては、社会の現状及び、未来を踏まえて、当社の専門性やノウハウ、データなどをさらに強化できるようデジタル技術を見極め、その導入と利活用にも注力し推進していきます。

3.戦略を推進するための実施体制

デジタル技術を活用した経営を推進していくための体制を整えます。

代表取締役の指揮のもと、DX化に向けたビジネスモデル構築のため、営業・企画・社内システム部門が横断的に連携を取り、内容に応じてプロジェクトチームを組成し、さらに外部のシステム会社とも協業の上、システム開発やDX化推進を行います。